

社会福祉学部 社会福祉学科【 福祉実践コース・企業系 】履修モデル

学部・学科の教育目標

社会福祉学部

臨床福祉の精神を培い、社会福祉に関する科学的な知識と技術を修得し、人々が幸せに生きる社会の構築に真摯に努める専門的な実践力を備えた人を育成する。

社会福祉学科

社会福祉の専門職は言うに及ばず、広く地域社会において福祉社会の構築に貢献できる実践力を身につけた社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士等の育成を目的としている。

そのため、講義から演習さらに実習への学習プログラムを大切にし、社会福祉の実践に必要な価値観、専門的知識と技能を修得することが教育目標である。

なお、福祉実践コースでは、以下のような人の育成を目指している。

福祉実践コース：

広く地域社会において福祉社会の構築に貢献できる実践力を身につけた人を育成する。

1 年次

■ 社会福祉の基礎について学ぶ

「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」「社会福祉入門Ⅰ・Ⅱ」「福祉マインド論」「ソーシャルスキル」
「ソーシャルワークの基盤と専門職」

2 年次

■ 社会福祉の理論と地域社会の現状と課題について学ぶ

「基礎ゼミナールⅢ・Ⅳ」「福祉実践論」「福祉コミュニケーション論」「居住福祉」

3 年次

■ 社会福祉の理論体系を学んだ上で、企業現場を実際に体験し、社会の実情に視野を広げていく

「研究演習Ⅰ・Ⅱ」「企業系キャリア現場実習（事前指導・現場実習・事後指導）」「社会起業論」

4 年次

■ よりよい社会の構築に資する人材としての力量を高めるため、研究演習において社会福祉の応用力を深化させる

「研究演習Ⅲ・Ⅳ」「社会福祉学研究」



